

さいしん福祉財団より「こども食堂・未来応援基金」へ 寄附金を贈呈しました

埼玉縣信用金庫（本店：熊谷市 理事長：井上 義夫）が設立した公益財団法人さいしん福祉財団（理事長：池田 啓一、以下「さいしん福祉財団」）は、2026 年 9 月 7 日（月）、こどもの居場所づくりやヤングケアラー支援を行う「こども食堂・未来応援基金」へ寄附金を贈呈いたしました。

厚生労働省や埼玉県調査によると、日常的に家族等のお世話やケアを行っているヤングケアラーである児童生徒が、およそ 20 人から 25 人に 1 人の割合でいることが分かっています。

さいしん福祉財団は従前より実施している在宅介護者への援助・慰労事業に加え、「ケアラーを支援するための協働に関する連携協定※」に基づくヤングケアラー支援の一環として、2022 年より「こども食堂・未来応援基金」へ寄附金を贈呈しております。



贈呈式の様子(2026.9.7)

今後も継続した支援に取り組み、ケアラー・ヤングケアラーの方が孤立しない社会の実現を目指して活動してまいります。

贈呈式の概要

日 時	2026 年 9 月 7 日（月） 13：30～
場 所	さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65 彩の国すこやかプラザ 3 階 団体交流室
寄 附 金 額	1,000,000 円
出 席 者	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 会長 山口 宏樹 様 公益財団法人さいしん福祉財団 理事長 池田 啓一

※ケアラーを支援するための協働に関する連携協定

当金庫ならびにさいしん福祉財団、埼玉県、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会が、ケアラー・ヤングケアラー支援のため 2022 年 7 月に締結した連携協定です。

連携および協力の概要は以下の通りです。

- （1）ケアラー・ヤングケアラーに対する関心と理解を深める啓発活動の実施

- (2) ヤングケアラーの支援のため、さいしん SDGs 私募債などを通じた「こども食堂・未来応援基金」への寄附 等

公益財団法人さいしん福祉財団とは

概要

沿革	1997 年 3 月設立、2012 年公益財団法人化
目的	埼玉県内において社会福祉の向上に関する事業を行い、社会福祉の充実に寄与することを目的とする
ホームページ	こちらから ⇒ https://saishin-fukushi.or.jp/



主たる事業

介護者リフレッシュ旅行

さいしん福祉財団では 1997 年の設立時より、ケアラーの方々を日帰り旅行または 1 泊旅行に無料でご招待し、日頃の介護からリフレッシュしていただく「介護者リフレッシュ旅行」を実施しております。

また、旅行中、介護の方のデイサービス・ショートステイ等の介護施設の利用の費用も当財団で一部負担しております。

「介護者リフレッシュ旅行」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しておりましたが、2023 年 5 月より、定員を抑える等の感染防止策を徹底した上で、3 年ぶりに再開いたしました。今年度も 5 回の日帰り旅行の実施を予定しております。

これまでの「介護者リフレッシュ旅行」は、通算 153 回実施し、のべ 5,715 名の方をご招待いたしました。(2026 年 8 月現在)



「介護者リフレッシュ旅行」に参加された皆さん (2025.10.15/東京スカイツリー)

本件のお問合せ

公益財団法人さいしん福祉財団 事務局：関

電話：048-527-6065

埼玉縣信用金庫 総合企画部：川向

電話：048-526-1111 URL：<https://www.saishin.co.jp>